



連合大阪2024 春季生活闘争総決起集会

!!! みんなで賃上げ。 ステージを変えよう!

日時：2024年3月1日(金)18:30~19:30

場所：扇町公園

集会次第

- 18:30 開会挨拶(司会) (芝 将人 連合大阪 事務局長)
- 18:33 主催者挨拶 (田中 宏和 連合大阪 会長)
- 18:48 政党代表挨拶
立憲民主党 大阪府総支部連合会 副代表 尾辻 かな子 様
国民民主党 大阪府総支部連合会 代表 浜野 喜史 様
- 18:58 職場からの決意表明
①中小労組からの訴え
(JAM:西島製作所労働組合 賀来 勇氣 執行委員長)
②交通関係からの訴え
(私鉄総連:大阪交通シティバス労働組合中津支部 山本 敏広 支部長)
③連帯アピール
(連帯活動委員会:禅野 康 委員長)
- 19:13 2024 春季生活闘争アピール(女性委員会、青年委員会)
- 19:18 集会宣言(案)採択(中小支援委員会:日茂 辰徳 副委員長)

舞 台

- ① JR連合、政労連、全労金
- ② 日教組、メティア労連、新運転
- ③ UAセンセン、紙パ連合
- ④ JAM、サービス連合、全国ユニオン
- ⑤ 情報労連、航空連合、国公総連
- ⑥ JP労組、海員組合、労済労連
- ⑦ 私鉄総連、全水道、港運同盟
- ① 電機連合、税関労組、全自交労連
- ② 自治労、全電線、セラミックス連合
- ③ 自動車総連、印刷労連、自運労
- ④ 電力総連、ゴム連合、連合大阪地方ユニオン
- ⑤ フード連合、運輸労連、
- ⑥ 基幹労連、JR総連、森林労連
- ⑦ JEC連合、交通労連、全造幣

連合大阪 2024 春季生活闘争集会宣言（案）

経済、賃金、物価をともに安定的に上昇させる経済社会へとステージ転換をはかる 2024 春季生活闘争は、いよいよ最大の交渉局面を迎えようとしている。

私たちは「未来づくり春闘」を掲げ、今回で 3 回目の取り組みとなる。「未来づくり」とは、経済成長や企業業績の後追いではなく、産業・企業、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を起点として、ステージを変え、経済の好循環を力強く回し、すべての働く者の総合的な生活改善をはかる必要がある。

日本経済は、厚生労働省の勤労統計調査で、「実質賃金」が 21 カ月連続、大阪の実質賃金も、14 カ月連続でマイナスとなっている。賃金の伸び率で見ても、全国平均の 2.1%増に対して、前年比 1.2%増にとどまった。また、連合総研の「勤労者短観」においても、「暮らしが悪くなった」という割合が大きく、特に低い所得の人々の生活は、極めて厳しい状況にある。

20 年以上にわたるデフレマインドを払拭し、賃金も物価も経済も安定的に上昇するステージへの転換を確実なものとするためにも、「人への投資」「未来への投資」を通じ、物価を上回る持続的な賃上げを実現するとともに、ジェンダー平等をはじめとするあらゆる格差が解消される環境をつくらなければならない。

2 月 2 日の「大阪版政労使会議」では、行政・経済界・労働界の三者が連携し、持続的な賃上げに向けて労務費を含めた適正な価格転嫁の取り組みの必要性を共有した。

さあ、準備は整った。

労働組合には、職場を変える、社会を変える力がある。いまこそ連合・連合大阪は、職場や地域で働く者一人ひとりの生活向上への期待と力を結集し、その役割をしっかりと果たしていく決意である。我々がけん引役となり大阪経済を活性化することで、能登半島地震の被災地域の復旧・復興にもつなげていく。

わたしたち連合大阪は、本集会で春季生活闘争の意義と役割を社会に発信するとともに、「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」を合言葉に、職場や地域の全ての働く生活者から大きなうねりを巻き起こし、2024 春季生活闘争を、最後の最後まで粘り強く、全力で闘い抜くことをここに宣言する。

2024 年 3 月 1 日

連合大阪 2024 春季生活闘争総決起集会